

◎地球環境に取り組む こどもエコクラブもちはしジュニア応援隊

(1)自分の箸と箸袋を持って食事をす
る“もちはし”運動を実践する。

(2)使い捨てボイの割箸をなくして燃
焼ゴミの減少と割り箸に伐採され
る森林を守る。

この2つを旗印に平成19年10月に
環境省のこどもエコクラブに、もち
はしジュニア応援隊が登録された。
出発点は平成19年7月に愛知県教育
委員会事業として発足した愛知県文
化財ジュニア応援隊である。小中学
生20数名が中心となり活動を開始
し、NPO法人「持続可能な伝統文
化を守る会」(中村修代表)による
染の「歴史・伝統・文化」の体験学
習を半年にわたり月1回おこなって
いる。「持続可能な伝統文化を守る
会」は東海三県(愛知・三重・岐阜)
の伝統工芸の職人が中心となり組織

されている。

現在の生活文化から失われつつあ
る和の暮らしの再生、普及と次世代
に東海地域の伝統文化のすばらしさ
を継承していくことを目的としてい
る。そのひとつとして“もちはし推
進プロジェクト”がある。子ども達
は会員である伝統工芸士、名士の先
生方に本物の道具、染料を使わせて
いただきながら名古屋手描き友禅、
名古屋黒紋付染、有松鳴海絞り等を
体験学習している。金彩で描かれた
絵の中に色を塗り染め上げた手描き
友禅で全員が自分の箸袋を創作し
た。これがこどもエコクラブもちは
しジュニア応援隊の活動の第一歩で
ある。現在20数人の子ども達が始め
た“もちはし”運動は家庭から学校
へ、そして地域へとその輪を少しず

つ広げている。地球環境の未来を考
えてこつこつと実践活動している
“こどもエコクラブもちはしジュニ
ア応援隊”。頼もしい子ども達が住
む名古屋の未来は明るい。

(現在日本で使用される割箸は1年間250
億膳、1人当たり200膳を使い捨てている。)
(S)



愛知県教育委員会生涯学習課
文化財保護室 表敬訪問